

中国留学前半終了

吉村 千陽

前期期末テストを終え、中国留學生活の前半が終了した。1月はほとんどテスト勉強をして過ごした。授業でも新しい単元には進まず、今まで勉強してした範囲の復習を何度も行った。午前中の授業が終わったら留学生の友達と学食でご飯を食べて、寮に戻りみんなでリスニングの問題を演習したり、わからないところを出し合ってみんなで答えを考えたり、中国人の友達を部屋に招いて教えてもらったりした。留学生達も最初の頃は英語でコミュニケーションを取っていたが、最近では簡単な日常会話などは中国語でするようになった。周りに高め合える仲間達がいるととてもいい環境だと感じた。

中国人の学生達は私達留学生よりもテストがはやく終わり、早いうちに自分たちの故郷へと帰省してしまったので、学校内は人気がなくとても寂しかった。学校内のお店もどんどんなくなってしまい食事するのに少し遠くに行かなくてはいけなかったのが少々不便だった。しかし、中国語で**外卖**(wai mai)と呼ばれるテイクアウトサービスの存在を知ってから遠くに行かなくても食事ができるようになった。**外卖**とは、スマホでまずお店を検索しその中から食べたい物を注文すると1時間も経たずに寮の前まで持ってきてくれる。**外卖**で注文できる料理は種類が豊富で、主食系の中でも汁物、麺類、それに飲み物、デザートまでなんでも運んでくれる。私はよく白いご飯だけを注文して日本から持って来たカレーのルーをかけて食べている。寮の共用キッチンに炊飯器はあるが、お米を買ってくるのが大変で、炊くのにも時間がかかってしまうので**外卖**で一人分頼むのが一番コスパがよくいつも利用している。中国人の友達から使い方を教えてもらってからは毎日のようにこの**外卖**を利用している為部屋から出ることが少なくなってしまった。

中国のテイクアウト技術には度々驚かされる。日本ではテイクアウトできるものできないものがあるが、中国では基本なんでもテイクアウトできるのでとても便利だ。

留学生のみんなと新年を祝う、前期お疲れ様会

